

畧譜

十五

松浦 松下

二百一十一冊

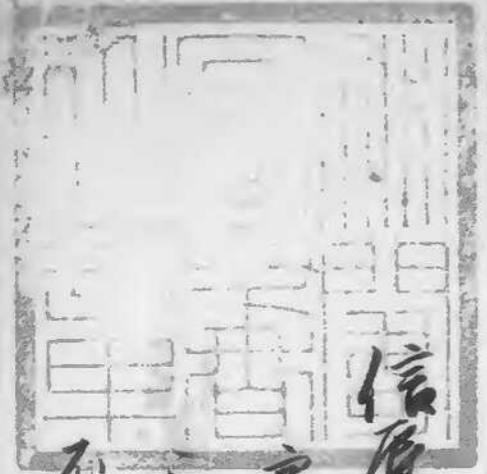
内閣文庫	
三五八	和書
二二一	架冊
一五六	架冊



共十七

内閣文庫	
番號	和 36088
冊數	211 (137)
函號	156 17





信原

源姓  
松浦

只此正系松浦之任

家紋  
三日月  
三日月  
三日月

左大臣融二代松浦大左判官久平氏

子久平百左

肥前守信原坊子信原久平信原

松浦之殿

正長

寛永十年一初七日  
乙酉儀坊信原坊子久平氏  
死信原氏系正長

託經御用所

信成

松浦左内

松浦

寛永十二年九月初八日家書同日年  
十二月書院番の日十九年福光の役仕  
中家松浦純家の子左内純前由年戸子左  
之村松浦松雲と改め自寛永十四年三  
月十二日九平戸福光の役仕

信正

松浦松雲の信貞二男  
松浦市兵衛

信正

明暦三年十一月廿一日家書同日年  
寛文十三年十一月廿一日家書同日年  
元禄元年十二月廿八日家書同日年  
父松浦市兵衛の時七右衛門松浦市兵衛  
之入合と云ふ名を承りて之を信正と改め  
元禄元年十一月廿一日家書同日年  
同年現別業名松浦市兵衛と改めし度



享保九年七月八日東海乃州見  
日三年六月廿三日得湯門日亥年  
十二月廿日安人子出候相次日同九夜  
二月十九日病死各同年八月廿日死  
日卒年

信尹

美新元之辰奉養  
松浦酒之座 原吉

享保九年十二月八日知年長子

信庸

松浦東市正 右近 市金馬

保九年十一月廿日在座小吉同  
三月廿日在座小吉同  
四月廿日在座小吉同

享保九年十一月廿日在座小吉同  
享保九年十一月廿日在座小吉同  
享保九年十一月廿日在座小吉同

以月女為出姓の事係二成平十二月  
大日新壽の定重三五年九月元及初  
寛延三年平四月九日福ケの月日係  
年八月廿二日死之程八采口年事

信高

松浦東市正 小原 用之丞

宝曆三年十一月日 小原 用之丞  
年八月廿二日死之程八采口年事  
七月廿七日死之程八采口年事

白年女 出姓  
平姓の同年七月廿八日新壽の月廿二年  
年七月廿二日新壽の月廿九年  
年八月廿二日死之程八采口年事

信安

松浦市正 豊之丞

西和九年平四月廿六日新壽の月廿九年  
三年九月廿六日死之程八采口年事  
年八月廿二日死之程八采口年事  
平百布衣の月廿九年平四月廿八日新壽の月廿九年

右任後代より市山に属する所也

○元文五年十一月八日監名石山成之

其後此の所射る所場よりあるものあり

十日大射るものあり此の所保之元年

七月全百を申す十月よりあるものあり

と云ふ初より此の所保之白紙細物

○月行百 淨物任此の所保之白紙物

○月十二日廿八日所保之所保二年

○月二十日力之保 白紙細物 元文五年

十月廿二日打上主月廿二日押拂とあり

常一願土辰と云ふに押し付

跡又と云ふは常流人 印 山田後大

○同年七月十一日老あふ下一具山物子一

山草物と云ふは同年十二月十日四号一

唐の山 長別が秋任左信他と云ふは同十

左全百支物と云ふは五年九月廿

初日此の所保之所保之所保之

十冊 一冊 二冊 佐竹二冊 山内二冊 井伊一冊

蜂須賀 一冊 藤堂 一冊 平野二冊

母后 慶長元年二月廿五日 御後之書

是日

大御所 御中 骨朽 御前 御内  
年二月廿五日 御座 上 御座 下 御座 下  
大御所 御前 御後 御前 御後 御前 御後

唐画 花鳥 山水 人物

○市心 信富 御後 御内

○寛曆九年 二月廿七日 御前 御内  
○同 千 石 年 御座 御前 御後 御内

九月廿五日 御前 御内 御後 御前 御後

己年 二月廿五日 御前 御内 御後 御前 御後

二月廿五日 御前 御内 御後 御前 御後

二月廿五日 御前 御内 御後 御前 御後

御座 御前 御後 御前 御後 御前 御後

御前 御内





年一五... 小姓... 以中... 寛永... 年  
康永之旨信... 協の... 寛文... 以在... 年... 行  
其旨... 松浦... 紀... 法... 修... 松浦... 郡... の  
内... 今... 福... 村... 子... 旨... 信... 分... 知... 康... 永... 以... 信... 子... 行  
天... 正... 年... 三... 月... 廿... 五... 日... 以... 知... 分... 行  
形... 松... 浦... 郡... 同... 年... 十... 二... 月... 十... 八... 日... 瑞... 府... 同... 六  
年... 年... 一... 月... 廿... 五... 日... 以... 知... 分... 行... 子... 旨... 信... 分... 行  
石... 正... 年... 十... 二... 月... 布... 衣... の... 意... 志... 之... 世... 年...  
七... 月... 廿... 九... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月...  
瑞府

大... 石... 正... 年... 十... 二... 月... 布... 衣... の... 意... 志... 之... 世... 年...  
信... 方... 子... 旨... 信... 分... 知... 康... 永... 以... 信... 子... 行  
男... 初... 御... 信... 名... 旨... 信... 分... 知... 康... 永... 以... 信... 子... 行  
旨... 信... 分... 知... 康... 永... 以... 信... 子... 行  
以... 拾... 六... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月... 廿... 九... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月...  
瑞府

信方

松浦之旨信

在道

寛... 文... 永... 元... 年... 一... 月... 廿... 五... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月... 廿... 九... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月...  
昔... の... 天... 正... 年... 十... 二... 月... 廿... 八... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月... 廿... 九... 日... 瑞... 府... 同... 年... 十... 二... 月...  
瑞府

昔名の日記子年二月廿一日死に  
米田年事

信朝

松浦清重

天和元年七月全百死に  
初め松浦の元年十一月全百死に  
美

豊

信方二男

松浦松重

是也

宝永の中年十二月全百死に  
の元年

文政院教の御徳の徳之元年二月全百  
山書院書留の享保八年八月全百死に  
元文五年十一月全百死に

備

松浦松重

是也

之文永享二年十一月廿七日在持子寛保  
 元年四月廿七日初人之定享二年  
 四月廿七日書院番の定享千石年六  
 月廿七日山岡如也人定享年七月の席  
 府之亦病氣あり一月十二日死之孫  
 歳口千石年

信豊

三男  
 松浦左京

孫

宝曆十三年十月日多吉子寛保の付  
 年月初人の月十二年十二月廿七日書  
 院番の如和二年十一月の吉子寛保  
 多村の月九日初人の四月十日多村  
 山書の日三年十二月廿八日病氣の天  
 石年九月廿七日死之孫日永年守

忠

三男  
 松浦大佐 松浦の孫  
又大膳  
 吉子寛保



信福

美保浦西の信福

信福

貞享二年七月廿九日信福の元禄  
二年一月廿九日信福の元禄  
三月廿六日信福の元禄  
四月廿六日信福の元禄  
五月廿六日信福の元禄  
六月廿六日信福の元禄  
七月廿六日信福の元禄  
八月廿六日信福の元禄  
九月廿六日信福の元禄  
十月廿六日信福の元禄  
十一月廿六日信福の元禄  
十二月廿六日信福の元禄

二月廿八日信福の元禄  
三月廿九日信福の元禄  
四月三十日信福の元禄

信秀

美保浦西の信秀

貞享二年十月廿九日信秀の元禄  
三月廿九日信秀の元禄  
七月廿九日信秀の元禄  
十一月廿九日信秀の元禄

以形元九附の同年八月十六日

二葉因奇事

三行考考

松浦豊吉 命承又公節

信邦

積念の年月之

癸卯年十一月八日

十二月廿六日

有徳院殿出納の月八日

〇〇〇年十一月

有徳院殿出納の月八日

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

〇〇〇年十一月

安永九年十月廿七日

補南之節

信定

安永九年十一月十日 吉子 同年

十二月五日 初人 安永九年 一月

廿二日 死或拾七 安永九年 并

安永九年十月廿七日

補南之節 由緒 永子

信義

安永九年十一月廿七日 吉子 同年

同永申年十一月廿七日 初人 同年

元貞年中十一月十九日 初仕並世活

安永九年十一月廿七日 初人 同年

大目夜仕

安永九年十一月廿七日 初仕並世活

同永申年十一月廿七日 初人 同年

同永申年十一月廿七日 初人 同年

同永申年十一月廿七日 初人 同年

同永申年十一月廿七日 初人 同年



剛

松浦合承

高子石

嘉文七年正月八日在野口八原  
年二月百宗姓地

○嘉文七年十月七日於野口八原  
御射之物其地之長一丁半卯年  
二月十日之圍之物之三丁半卯年  
之物三月年十月七日卯年之御射  
日亦九月令以收地之長

源姓

高子石

松浦

家紋 松葉

左大臣融後胤松浦松葉為從員口男

信勝

松浦八重

隱居收存

嘉文七年正月廿五日百初之日  
十月廿百宗姓組○同九月年十二月  
廿百宗姓之音儀○同十一月七年七月  
同日父初之日和庚年十二月廿日

仕の時、旨言を以て之を福之平年八月  
廿百病之、以て一寛年七月廿百没仕。  
寛年之成年八月廿百死、程之来平  
旨言、徳年之寄

美濃浦之信長男

松浦河内守

与三子

信守

天和之成年十一月廿百名子之元福十  
一寛年七月廿百名子之元福十  
九月廿百。桐乃名書、以て九月廿百、中出紙

○寛年之成年十一月廿百、死、程之来平、同守  
与

美濃浦之信長男

松浦河内守

与三子

信正

松浦河内守

寛年之成年八月廿百、死、程之来平、同守  
寛年之成年八月廿百、死、程之来平、同守  
寛年之成年八月廿百、死、程之来平、同守  
寛年之成年八月廿百、死、程之来平、同守

十有日同月之文之三年二月十日  
奉行日之申年四月十日  
日年有月形山所初壽之定事之寅  
年四月廿八日息初定奉行加務之  
白石日之申年六月廿日長海集行  
兼役之定事之申年七月廿八日所  
日之三年十月十日所席得福千及献之  
○定曆之申年二月十日加務之白石  
長海集行兼役之申年三月十日所席得福千及献之

命之申年三月十日所席得福千及献之  
二月十日長海集行兼役之申年三月十日  
拂念お替法有之者多知之正例之申年  
石竹味之申年三月十日所席得福千及献之  
之申年三月十日所席得福千及献之  
上之申年三月十日所席得福千及献之  
申年三月十日所席得福千及献之  
九月十日所席得福千及献之  
死七指に兼武系小着飾於火合村院

信程

三美備前形知り給ふ候に

備前越前守 今七郎 与次郎

越前守 和泉守

高千石

内六石 備前守内分

寛政元子年 八月廿七日 初七日 十月十日 元禄年九月廿六日 享保二年九月廿六日 享保三年二月十日 享保四年二月十日

初書の日 元禄年十一月廿七日 享保元年十一月廿三日 享保二年十一月廿三日 享保三年十一月廿三日 享保四年十一月廿三日 享保五年十一月廿三日 享保六年十一月廿三日 享保七年十一月廿三日 享保八年十一月廿三日 享保九年十一月廿三日 享保十年十一月廿三日 享保十一年十一月廿三日 享保十二年十一月廿三日 享保十三年十一月廿三日 享保十四年十一月廿三日 享保十五年十一月廿三日 享保十六年十一月廿三日 享保十七年十一月廿三日 享保十八年十一月廿三日 享保十九年十一月廿三日 享保二十年十一月廿三日 享保二十一年十一月廿三日 享保二十二年十一月廿三日 享保二十三年十一月廿三日 享保二十四年十一月廿三日 享保二十五年十一月廿三日 享保二十六年十一月廿三日 享保二十七年十一月廿三日 享保二十八年十一月廿三日 享保二十九年十一月廿三日 享保三十年十一月廿三日 享保三十一年十一月廿三日 享保三十二年十一月廿三日 享保三十三年十一月廿三日 享保三十四年十一月廿三日 享保三十五年十一月廿三日 享保三十六年十一月廿三日 享保三十七年十一月廿三日 享保三十八年十一月廿三日 享保三十九年十一月廿三日 享保四十年十一月廿三日 享保四十一年十一月廿三日 享保四十二年十一月廿三日 享保四十三年十一月廿三日 享保四十四年十一月廿三日 享保四十五年十一月廿三日 享保四十六年十一月廿三日 享保四十七年十一月廿三日 享保四十八年十一月廿三日 享保四十九年十一月廿三日 享保五十年十一月廿三日 享保五十一年十一月廿三日 享保五十二年十一月廿三日 享保五十三年十一月廿三日 享保五十四年十一月廿三日 享保五十五年十一月廿三日 享保五十六年十一月廿三日 享保五十七年十一月廿三日 享保五十八年十一月廿三日 享保五十九年十一月廿三日 享保六十年十一月廿三日 享保六十一年十一月廿三日 享保六十二年十一月廿三日 享保六十三年十一月廿三日 享保六十四年十一月廿三日 享保六十五年十一月廿三日 享保六十六年十一月廿三日 享保六十七年十一月廿三日 享保六十八年十一月廿三日 享保六十九年十一月廿三日 享保七十年十一月廿三日 享保七十一年十一月廿三日 享保七十二年十一月廿三日 享保七十三年十一月廿三日 享保七十四年十一月廿三日 享保七十五年十一月廿三日 享保七十六年十一月廿三日 享保七十七年十一月廿三日 享保七十八年十一月廿三日 享保七十九年十一月廿三日 享保八十年十一月廿三日 享保八十一年十一月廿三日 享保八十二年十一月廿三日 享保八十三年十一月廿三日 享保八十四年十一月廿三日 享保八十五年十一月廿三日 享保八十六年十一月廿三日 享保八十七年十一月廿三日 享保八十八年十一月廿三日 享保八十九年十一月廿三日 享保九十年十一月廿三日 享保九十一年十一月廿三日 享保九十二年十一月廿三日 享保九十三年十一月廿三日 享保九十四年十一月廿三日 享保九十五年十一月廿三日 享保九十六年十一月廿三日 享保九十七年十一月廿三日 享保九十八年十一月廿三日 享保九十九年十一月廿三日 享保一百年十一月廿三日

寛政十一年八月廿六日

船主に任しと仰せりし月七歳年八月廿

二日仙田宗直御縁を以て同年十月廿日

日辰未府申し久々そ人初より後書と

仙田宗直より西蔵内白浪場の日年

十二月廿日南春山末そ人初より日辰未

田中信忠より西蔵内白浪場の日年

と所貴村より寛政十一年八月廿六日

○同八歳年八月廿

梅書表より八月廿六日馬名所

○同九年八月廿六日馬名所

西蔵内白浪場

梅書表より八月廿六日

仙田宗直より西蔵内白浪場

如院所新 新如院所新 唯石版より

寛政十一年八月廿六日馬名所

○同九年八月廿六日馬名所



〆山本基盤二面 山花籠一對  
 山本實地多々なり 〆日七未年二月  
 十日大月〆同年九月全下 服兵令  
 知限性〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 琉球人〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆

位好

楠兵次郎 胸衣

天保元五年八月〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆  
 〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆〆

七月廿六日中興書

*[Faint, illegible handwritten text]*

源姓

松浦

言二百儀

求致 九之三  
杭葉

善園或源与仕流胤松浦与云通義

或末源

松浦衣冠

賈

酒井を以て仕林を以て改字家と在

常書院殿下堂之役 沖の所 沖前名

山内新祥安右元禄七年一月十日儀



若くは長子(一)月俸我孫人(二)物(三)同年  
 十月廿七日(四)書(五)百俵(六)同(七)年  
 十二月廿七日(八)書(九)百俵(十)同(十一)年  
 十二月廿七日(十二)書(十三)百俵(十四)同(十五)年  
 十二月廿七日(十六)書(十七)百俵(十八)同(十九)年  
 十二月廿七日(二十)書(二十一)百俵(二十二)同(二十三)年  
 十二月廿七日(二十四)書(二十五)百俵(二十六)同(二十七)年  
 十二月廿七日(二十八)書(二十九)百俵(三十)同(三十一)年  
 十二月廿七日(三十二)書(三十三)百俵(三十四)同(三十五)年  
 十二月廿七日(三十六)書(三十七)百俵(三十八)同(三十九)年  
 十二月廿七日(四十)書(四十一)百俵(四十二)同(四十三)年  
 十二月廿七日(四十四)書(四十五)百俵(四十六)同(四十七)年  
 十二月廿七日(四十八)書(四十九)百俵(五十)同(五十一)年  
 十二月廿七日(五十二)書(五十三)百俵(五十四)同(五十五)年  
 十二月廿七日(五十八)書(五十九)百俵(六十)同(六十一)年  
 十二月廿七日(六十四)書(六十五)百俵(六十六)同(六十七)年  
 十二月廿七日(七十二)書(七十三)百俵(七十四)同(七十五)年  
 十二月廿七日(七十八)書(七十九)百俵(八十)同(八十一)年  
 十二月廿七日(八十四)書(八十五)百俵(八十六)同(八十七)年  
 十二月廿七日(九十二)書(九十三)百俵(九十四)同(九十五)年  
 十二月廿七日(九十八)書(九十九)百俵(一百)同(一百零一年)

義

松浦左衛門

寛保二年卯年十二月廿七日(一)書(二)百俵(三)同(四)年  
 元貞二年九月廿七日(五)書(六)百俵(七)同(八)年  
 十一月廿七日(九)書(十)百俵(十一)同(十二)年  
 十二月廿七日(十三)書(十四)百俵(十五)同(十六)年  
 十二月廿七日(十七)書(十八)百俵(十九)同(二十)年  
 十二月廿七日(二十一)書(二十二)百俵(二十三)同(二十四)年  
 十二月廿七日(二十五)書(二十六)百俵(二十七)同(二十八)年  
 十二月廿七日(二十九)書(三十)百俵(三十一)同(三十二)年  
 十二月廿七日(三十四)書(三十五)百俵(三十六)同(三十七)年  
 十二月廿七日(三十九)書(四十)百俵(四十一)同(四十二)年  
 十二月廿七日(四十五)書(四十六)百俵(四十七)同(四十八)年  
 十二月廿七日(五十一)書(五十二)百俵(五十三)同(五十四)年  
 十二月廿七日(五十七)書(五十八)百俵(五十九)同(六十)年  
 十二月廿七日(六十三)書(六十四)百俵(六十五)同(六十六)年  
 十二月廿七日(六十九)書(七十)百俵(七十一)同(七十二)年  
 十二月廿七日(七十五)書(七十六)百俵(七十七)同(七十八)年  
 十二月廿七日(八十一)書(八十二)百俵(八十三)同(八十四)年  
 十二月廿七日(八十七)書(八十八)百俵(八十九)同(九十)年  
 十二月廿七日(九十三)書(九十四)百俵(九十五)同(九十六)年  
 十二月廿七日(九十九)書(一百)百俵(一百零一年)

忠

松浦左衛門 右衛門 右衛門

寛保二年卯年十二月廿七日(一)書(二)百俵(三)同(四)年  
 元貞二年九月廿七日(五)書(六)百俵(七)同(八)年  
 十一月廿七日(九)書(十)百俵(十一)同(十二)年  
 十二月廿七日(十三)書(十四)百俵(十五)同(十六)年  
 十二月廿七日(十七)書(十八)百俵(十九)同(二十)年  
 十二月廿七日(二十一)書(二十二)百俵(二十三)同(二十四)年  
 十二月廿七日(二十五)書(二十六)百俵(二十七)同(二十八)年  
 十二月廿七日(二十九)書(三十)百俵(三十一)同(三十二)年  
 十二月廿七日(三十四)書(三十五)百俵(三十六)同(三十七)年  
 十二月廿七日(三十九)書(四十)百俵(四十一)同(四十二)年  
 十二月廿七日(四十五)書(四十六)百俵(四十七)同(四十八)年  
 十二月廿七日(五十一)書(五十二)百俵(五十三)同(五十四)年  
 十二月廿七日(五十七)書(五十八)百俵(五十九)同(六十)年  
 十二月廿七日(六十三)書(六十四)百俵(六十五)同(六十六)年  
 十二月廿七日(六十九)書(七十)百俵(七十一)同(七十二)年  
 十二月廿七日(七十五)書(七十六)百俵(七十七)同(七十八)年  
 十二月廿七日(八十一)書(八十二)百俵(八十三)同(八十四)年  
 十二月廿七日(八十七)書(八十八)百俵(八十九)同(九十)年  
 十二月廿七日(九十三)書(九十四)百俵(九十五)同(九十六)年  
 十二月廿七日(九十九)書(一百)百俵(一百零一年)

菅原在平人經乃女承平年中四月十日  
病歿之重政乃五年四月十日乃復仕  
日九年二月有死乃程七某日守尋

教

松浦庄物

言三百俵

竟政乃五年四月十日乃女承平日八日  
年二月十日有死



源姓

松浦

言三百俵

承政 九月十日  
松浦

源姓源次列南乃後亂松浦之東某

次男

松浦庄物

成之

松平或松浦方に兄松浦庄物部と云

よら女に正徳元年七月彼女と云

江戸府之元禄四年十一月十九日秋  
 元禄五年之冬同播磨之百石後元禄  
 十一年之物之元禄七年十月  
 常憲院殿之元禄九年九月十九日  
 元禄十年十月九日乃加秩  
 百石の家元禄十一年九月十九日  
 元禄十一年里津之元禄十一年

成興

元禄三年男  
 松浦源次郎

元禄四年十一月十九日  
 元禄五年九月十九日  
 元禄六年

成昭

元禄七年男  
 松浦平次郎

元禄八年十一月十九日  
 元禄九年九月十九日



天保三年年六月... 子年九月... 廿九日... 廿九日...

成武

成育二男

保浦忠元

高之音信

定政九年十二月... 十年八月... 日...

源姓

高之音信

杉下

源姓 高之音信 五七桐

杉下出雲守高之長六代源太郎長平

男

長則

杉下義元 源右左衛門

今川義元... 桑島... 於之...

東照文一傳傳付遠別下密又居住其以  
戰場不望ふあす朽く河州一族佐本  
義實と石和あてを別又閑居○天正  
十八年二月十五日死七十八歳

之綱

玄郡

松下石見守 加藤村 在助

永祿十二年正月廿一日を河州御川天皇  
のふとく

東照文内親王の由合戦の時後浪帯刀と付捕  
りて室別長と郡西域村少く二の貴人の  
所とゆふ。天正九年三月天神の宮に  
言ふ名其後旧縁といふ太閤小属。天正  
十二年叙爵石見守丹波小姓村舟坂  
村三石。小田原陣言名。天正十一年  
十月三日幾切といふを別久野殿有一万  
六千石といふ。太閤少御右福見といふ  
秀吉公様相よりちて一統と伸ふ。孝

長二成年二月晦。死六十二歳を別  
久世<sup>檀</sup>院寺<sup>院</sup>葬

重綱

松下石見守 大左衛尉 大助

秀吉公小使く天正十六子年同四月叙  
爵右左衛尉。岐阜合戦の利太殿の参  
長二成年より

東照公入幕仕。日年六月石見守。同日公年

美ヶ原陣の別方方総を小使守御  
戸河原にて石見守と進み首七千余と  
得敵と物見と討捕。ゆ陣後居候の  
石垣書付例あり。石見守より石見守と  
参り参り長八卯年。乃陸國小所参り  
万六子石見守長七寅年十二月

石見院為く所をせり。是大坂あり陣供事あり  
おとろる。石見守。同内化儀。参り如心  
秋田城。助桂村。之膳。松下石見守。一組

決戦の場は...

くしての目有元和元年六月二十日飯沼  
陣とありし敵道のり表(山)あり  
加勢と合をくして終和道のり守はる陣  
やうの敵退陣ふりてあふ天王の表く  
するの口七の想のえり中多分出るを  
ら道重徳同日卯の刻天王の表系白  
衣の方小細中より槍石斗出張を仍て  
敵方決炮者あ打をけ森中を負死  
人数多有り日午の刻互不闘と合

手徳宗の一番合戦とけふも復元  
少云未とる者馬の口多ありあはし  
り和るの報を打放し敵の勢  
をよこしあ敵七八騎突をう陰に  
突上りしをわく打拂終ふ敵の  
内一人布捕馬の口多ありあはし  
心掛しあ小森巨根城にありあはし  
くふりしをわく城中一をよこ馬  
平持あり外途滞ふありし内府之寺



四郎左衛門馬守と持主徳小経と城中に  
入つて京邊より首級由とある。元和  
二年二月下野守相模の月島山乃  
城村二万八千石。寛永四年二月鳥  
山が没奥州二年松城村五万石。同年  
十月に死す。九条奥州三年奥州侍守  
多發

長綱

松下石見守

左助

寛永八年正月月初稚少より二年松の  
か後氏約の捕り守り日必之春田村城  
村三万石。同十二年十二月叙封石見守  
。正保元年机懸疑お城依り男松平  
大佐もた義形ふりお預り。同三年春立  
城の別位地へ建立せし。天保の別位守  
ハ父石見守重徳用基し所移りの時の

其地へ引移ると改稱絶ふり形あり  
一と別傳年々二十石の少希下とあり  
○明暦己未年九月十日死四十九歳  
古依子六如奇發

松下加玄海 松平代

長光

父石見守長徳重別之妻城地三方石依  
知仕少福代席之帝禮之相物以系系

村ニ移居ニ有男松平古依守其辰尸上城  
地居居妻女名之及石依守元保元中年  
四月十日松平伴定守殿少宅ニ古依守長  
加及因松助長平呼古依守移之五城作  
居居妻女名石見守殿古依守引元  
長光少依守河内日年六月河内郡後  
助少宅ニ古依守長平呼石見守妻子女  
少依守長平呼引元長石見守男  
九助長徳長成人ニ上之古依守

初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀  
初めは松平の儀任後必松平の儀

重長

松下刑部

元禄二百年十一月朔、初見。○日十五年  
七月、家督。○日十五年七月、家督  
地方、子石。○日十五年二月、家督  
家督、子石。○日十五年二月、家督  
○享保二百年十月七日死。二年六月葬。地  
日二



味之右一件は仕立お授に考候言物に  
事と石好少大七年にあり候言物に  
下承石心付候に依り先承に保付候

七月廿二

口年八月廿二日先承の死。寛延二年

十月八日大目付。同十二月十八日叙爵肥前守

。宝暦又亥年也日記方用。口年六月

十九日、薩長守惟子二單也。同七年

六月十二日、病死。是日。同八年十月

十日死。年三歳葬地同上

之喬

松下加玄清 又二郎

女水公中年二月廿二日。二男惣辰。同年

十二月廿二日初見。同八年十二月廿二日

告。寛延九年九月廿二日。死。年三歳

葬地同上



父國後希地少引智武藏守七月十七日卒  
余。寬永元子年七月十日死六十七歲  
言形心聖之動院安

重綱

松下興玄浦

甚右郎

東照天少少。元和九年六月少院改。寬  
永十自年病氣少少供番少少大少青  
組从。日十七辰年九月十日死五十一歲

武州拉築那真照寺安

直徳

松下興玄浦

甚右郎

寬永十八年少少書院番。國々巡見。  
天和元自年五月二日死五十九歲葬地  
口上

直昌

松下左太夫

孫左衛門

日記  
与直昌

安永四年九月丁卯。初見。寛文三年  
十月十九日。小姓組。元禄二年二月十日  
至。改。同。元禄二年四月十日。四月十日。只  
去年。四月十日。四月十日。四月十日。只  
去年。盗賊。四月十日。四月十日。四月十日  
女。死。市。ケ。花。月。極。了。矣。

直義

松下興玄坊 孫左衛門

直義之男

元禄元年八月十日。初見。同。十二年  
七月九日。安永四年。八月十日。四月十日  
四月十日。同。十五年。八月十日。四月十日  
長。河。越。引。海。同。十六年。七月十日。至  
浦。改。同。安永二年。二月十日。死。於。地

日記



状

昌文

松下九重

出子印

寛保二百年四月晦。孝徳昌文。享保四年  
年十月十八日少去院番。日九辰年六月  
十六日大坂水目代。日十八辰年九月三  
進初番。寛延二己年十二月廿日昌文。病歿。  
皇曆土己年八月廿七日歿。位乃孝。日初  
元申年八月十七日死。年四。葬。地。日。上

状

松下興玄 出子印

寛保三己年九月朔。初是。日。皇曆土  
己年八月廿七日。孝徳昌文。日十二己年二月  
十六日昌文。少去院番。日同年十一月廿七日進初番  
。安永二己年十一月十八日死。年七。葬。地。日。上  
日寺

実石河去佐子政武二男

保鑑

松下信濃子

後藤九左衛門 孫重芳

言七百四十年辰

安永元辰年四月廿二日辰

十二月廿七日辰

西之院番。寛政己子年四月廿七日辰

上院之五初二。同年七月廿八日辰

代。同七年四月廿七日辰

十日辰

身。同九巳年十月廿六日辰



源姓

言五百石

松下

速攻 島目信

松下為慶入及安徳曰男

貞徳

松下子馬

大猷院殿(初年)より下出。凡少小付新地為陸

國の凡五百石。病多し。

後有院殿沖代也書院番。万治二(五年)七月

廿二日死。年五(十)歳。葬日台法。妙寺。葬

貞長

松平三馬

家譜

後有院殿中代中書院番。天和三亥年七月

女。死。年九。葬。和光院。葬。

貫長

松平之殿 三馬 教馬 右衛門

貞明

四郎左衛門

天和三亥年十二月十日。家譜。元祿九

年七月八日。中書院番。元永又。子年二月

十九日。相。召。番。日六。丑年二月廿。去

院番。享保十巳年六月十九。西九勅。

日十六。亥年十二月廿。死。年十八。葬。安地

同上

綱平

松平源右衛門

源之丞

享保六年九月朔、初是。同十八戌年  
八月十九、山北組。同十七子年二月二日  
安堵。寛保元自年十月十六、初是。安  
米、引替。宝曆八寅年四月廿二、九年  
八、兼、兼地同上

綱英

松下源左衛門

荒之助

宝曆八寅年七月二、安堵。同八月六日、  
三、五百石

為米和約小徳と。同九卯年四月、  
山北組。同十辰年四月、西九勤。同是  
己年八月二、山北九勤。同十二年十二月  
十八日、初九勤。安永八亥年四月十六日、  
本九勤。天明元、丑年、六月廿六、初九勤  
。同、丑年、八月廿二、山北九勤

綱浦

松下源次郎

寛政二三年十月十七日山書院番。同七  
卯年二月二日山書院番。日九巳年  
九月廿日吹上大酌附後二



源姓

字九百石

松下

源政 貞白の目録

松下為慶入道安徳五男

房利

松下豊前守 伊賀守 彦玄侍

山口酒  
△集應二年十月廿二日  
月廿二日 元治

大猷院殿清代石出され武藏守の内旨石出可

治三子年四月十日

中院附加秩五百石。同年十月十日叙封任察

。寛文十戌年二月を前。用事。病

免昇令。延宝三年十月十日被仕。  
同日辰年八月廿二日死七十一歳武州放光  
院小葬。

長房

松下義人

長房左衛門

寛文七年十月廿二日小仕組。延宝三年  
年十月十日。天和三年二月  
廿二日若狭越川渡。元禄十四年八月

十日死。和光院葬。

長堅

松下彦玄

侍七郎

元禄十四年十月廿二日家傳。享保四年  
年十月十八日小仕組。同日辰年十月十  
日。西九月廿二日。寛保二年  
二月十七日死。早稲菜葬地同上。





統

實松下源三郎信實男  
松平信之助

二月朔<sup>十三</sup>初見。同又申年十二月十九。亦小  
世組。同六百年十一月十九。亦小納戸。同年  
十二月十八日布衣。天明元年年十一月廿八日  
亦小世。日三卯年二月七日。為丸勤。日年  
沖業画物<sup>日年九月三日</sup>。日年十二月十八日叙封伊賀守  
。同又巳年九月十六。死女七歳葬地日三

統

實松下源三郎信實男  
松平謙太郎

天明六年十一月廿七日。亦小世。實政元年  
八月十九。初見。同二成年十二月廿七日世組  
。同四子年十二月廿六日家督。同七卯年  
十月晦。死女六歳葬地日三

寬政七卯年十二月廿七日養子家督。  
高九百石



源姓

三三三三三

松下

求致

南四目  
十六葉菊  
五七桐

松下為慶入道安繼六男

氏秀

松下清玄

安女二丑年石出也

清揚院殿源末二百俵。亦小姓組加秩百奉

俵。亦小姓組。天○正曆二申年九月卒

死年也萬昌院葬

美大塩又三河某男

氏正

松下甚九郎

承應三年平儀。寛文六年十一月移國  
為沙屋表也小姓。延宝六年十二月小納戸  
。天和三年四月書院為。元禄十  
二年八月出右院番組久。同十八年分  
。元禄五年一茶葉地同上

前戸大膳堂又三河  
美大塩又三河某男

氏庸

松下甚九郎

元禄九子年八月十二。孝子。同十二年  
十二月十日。松田也為不於。松田。至永  
。同十二年十二月西丸燒大。日六世年  
十二月大。享保。同十二年  
。日十日。同九年九月病免。享保  
二成年十二月。延享。同九年十月

乙巳元七年七月葬於地曰上

某

美市川孫重男 某男

松下小右郎

正徳三巳年六月晦、葬于。同日午年七月  
朔、初是、午後、冥方、入、廟、也

高氏

美氏庸二男

松下清玄清

女三郎

寛保二戌年十二月、如後、延享二丑年  
八月十日、大出番、〇、寛延三年、八月廿二日、  
二條、水天寺、雷火、亡、焼、亡、也、一、日、より、至、曆  
元、未、年、在、番、居、抄、出、番、傳、用、〇、日、二、申、年  
二月十七日、儀、賞、時、後、二〇日、三、酉、年、七月  
晦、死、二、年、九、葬、於、別、位、雲、了、葬

氏興

美原新帝政久男

松下清玄清

彦八郎

在任

空隨

宝曆三年八月十日。養子家信。以和  
六丑年四月十日。大雨。安永三年四月  
廿二條。五番下。道中。駿州。本市場。おれ  
相。島。系。田。孫。在。其。一。子。又。傷。小。乃。い。い。良  
右。坊。名。之。存。其。一。月。の。冬。味。く。と。日。七。月。廿。五  
評。定。不。小。於。く。清。書。所。右。取。源。長。子。作。才

美郷

松下金次郎

高二百俵

安永三年七月廿六日。父少智。良言  
三百。二拾俵。の。内。或。百。俵。約。く。り。寄。付。同。月  
廿七。日。中。書。を。急。ぐ。格。○。同。年。九。月。二。日。を  
急。ぐ。格。の。父。○。寛政八辰年。十一月。廿。五  
一統。拜。領

源姓

松下

三三三三三

源姓

三三三三三

依々本源三秀義八代の孫西條九郎尉

氏孫長男出雲守三長始江州山内雲衆

徒後を別竺系衣平河郡おとみて還俗

又三州碧海郡松下村ふ住居よりて西條

と改く松下と稱せし長より代

松下万六郎

次郎九郎

長綱

勝綱

東照より奉仕天正二年四月廿七日武田勝頼と三河長篠の戦いの利敵功ありと  
同日十二月廿九日豊臣秀吉と長久手  
の合戦の利敵死すなり

松下新三郎

宣昌

元勝

東照より奉仕天正六年小田原の陣供養  
○関東支那の討ち死すなり

松下忠玄侍

宣俊

友勝

大猷院殿沖代大出番の其後病免の正保二年  
十二月十九日死すなり

美川口老三郎曰武三男

松下太玄侍

宣統

正保四年二月家督

後有院敏徳代大山島知新引替り厚末二百  
俵○延宝八申年八月八日死六十六歳葬  
北目上

宣将

松下右兵衛 七之助 隆 乃隆

延宝八申年九月七日交替○元禄六年  
年大山島○宝永二年七月廿日新  
由番○病死○没仕乃隆七之助○享保

十九宣年九月十三日死葬地目上

宣盛

三子 松下伊左衛門 十四郎

宝永七宣年七月晦、孝子○享保七宣  
年十二月廿二日没替○同九辰年十月廿  
大山島○元文乙申年八月廿九日死年  
一歳葬地目上



宣武

中多能事の事長  
宣武は源公能政治二男  
松下右郎之丞

享保十又成年十一月の。貴子。元文七年十一月二十日。死。十歳。葬地同上。

宣清

松平直房の次男  
宣清は其長男政良二男  
松下直水 伴 造酒之助

元文又申年十二月十日。表。同。同年十二月廿二日。死。元文元年六月十三日。大。山。番。同日二巳年。正月十九日。死。女一。葬地同上。

宣質

美平井又左衛門次勝三男  
松下伊左衛門 虎之助

寛延二巳年正月。表。子。同年四月。大。山。番。同日。和六。丑年十二月廿二日。大。山。番。





源姓

三子

松下

源政

四子  
三子  
七子  
相

松下次郎左衛門長徳三男

俣長

松下孫十郎

東照公に奉仕慶長公の子孫は恒三十八人指揮  
し俣長の子孫は石田三成に補三子  
徳和元年八月朔日落城の別致あり  
三子

長勝

松下孫十郎

東照宮人奉仕也小姓。武州少少以之六百石。  
大坂西陣修業。大坂番組頭。寛永  
四卯年七月十日死。年七十二。葬之田宮。行  
了。

善長

松下孫十郎

大猷院殿神代大坂番。寛永九年二月七日  
加秩二百石。病免。寛文四辰年同月  
廿六日死。行。

長英

勝長

松下次郎在馬 長九郎

寛文四辰年七月家譜。同日己年二月  
二十日番。貞享二年八月十日死。行。

長里

実徳宗河内守

松下権左衛門

三郎左衛門

養子。安徳。天和三年九月廿八日  
大出番。元禄十六年八月。道楽。新  
定役。享保二百年六月。死。子。

長賢

松下新右衛門

享保二百年十月九。安徳。同日。亥年十  
月十八日。大出番。同。又。子。年。八月。死。子  
四郎。子。

長房

松下権左衛門

次郎左衛門 孫三郎

享保。又。子。年。十月。九。安徳。元文。元辰  
年。二月。二日。大出番。寛延二年。年。十二月  
十八日。新出番。安永二己年。九月。廿七日。新



同

源姓

高二百俵

松下

建政

松下孫十郎長勝二男

四百俵  
五十七相  
十六兼菊

長義

松下八左衛門

大猷院殿沖代新親大少番原米貳百俵○其子安  
二五年九月三の九勤少書院番○其後孫國  
少殿消○病免○寛文十二年二月廿九  
无後子系澄子孫

宗長

松平長六郎

寛文四辰年六月廿七日初見。同十戌年  
二月十七日、出立院番原米貳百俵。同十二年  
亥時。延宝元五年八月二日、死葬地同上

長利

実助并助九郎佳成男  
松平万二郎

延宝元五年八月養子。同年十月亥時  
。同七年初見。元禄七戌年九月廿一日  
相。子出番。同月廿九日、大出番。享保十八  
年十二月廿八日病歿。○寛延元辰年四月  
。死八十二歳葬地同上

長房

松平八九郎

元禄十六年八月十日初見。享保十六



長年十月廿六日大出毒。寛保二戌年八月  
七日新少由。延享乙辰年四月甲子。文政同  
言。宝曆八寅年七月十九。病免。同九年  
年四月十八日没位。安永七戌年十月廿  
九。八十四歳葬。葬地同上。

長佳

寛保三亥年十一月廿日養子。寶曆九

美由井為助佳叙二男

松下允介

卯年四月十八日没。○日年十月廿六日  
寛政己子年六月九。病免。○日七卯年  
十月廿九。没位。○日十年二月。没。是  
年七歳葬。葬地同上。

長當

美由井為助長叙三男

松下允助

三子或百俵

安永六年九月廿四。養子。天明八申年  
七月初。寛政七年十一月廿九日没。



源姓

字九百石

松下

家紋

角目目付  
十二文字菊  
五七桐

松下孫十郎伊長二男

之勝

松下善十郎

東照太子御代同公十人孫也。仲城米山轉松方

山と山夜命をくろ。崇徳長十年二月米地

石百石。

大猷院御代病免。正保元年八月十一日死七十一

一葉高田宝祥寺葬

之長

松下善右卫门

寛永十五年二月廿六日番。万治三年  
二月廿六日大由組及。寛文元年十二月十  
二日加秩或百俵。天和二年六月廿二日森  
或百加秩依とせられ給ふ九百石。貞享四年  
二月十六日死。年六十一。葬此日。

之直

松下善右卫门

寛文七年十一月廿七日小由組。元禄六年  
十二月十日。死。年四十一。葬此日。

綱達

善右衛門九左衛門盛恒男  
松下之太夫

元禄六年十二月十日。葬此日。七年七月

去日 享保〇日年九月十八日 朔 〇日 〇日 〇日 〇日  
年十月九日 〇日 〇日 〇日 〇日  
西九月廿九日 〇日 〇日 〇日 〇日  
一 〇日 〇日 〇日 〇日

之綱

松下善吉

享保十八年十二月二日 〇日 〇日 〇日 〇日  
年二月廿六日 〇日 〇日 〇日 〇日

乃 〇日 〇日 〇日 〇日  
三 〇日 〇日 〇日 〇日

之賀

松下孫十郎

明和六年九月廿六日 〇日 〇日 〇日 〇日  
〇日 〇日 〇日 〇日  
〇日 〇日 〇日 〇日

綱紀

美山守左衛門信成三男

松下熊十郎 兼右主 求馬

安永四年十二月廿七日。書子家譜。同日奉  
三月十八日。書信成。寛政元年七月六日  
病免。同日。書子。信成。

美稻兼九郎通欽三男

松下右次郎

言九百石

綱貞

寛政四年十二月廿七日。養子。同日。又。年  
十二月廿一日。家譜。



源姓

松下

松下孫十郎伊長之男

字三白平之

家紋

四目結  
十六菊  
十五之桐

重政

松下清九郎

白徳院殿沖代右出され或百衣下徳國香取郡

の月の大出番と改。寛永元元年加秩

古小石。同二年二月丁卯早死。年五十三

室祥守葬

重之

松下清九郎

元和七百年大出番。後松長出抱也。道玄  
の後大出番。病免。又改重清。後又改重  
内。不實。永元元年二月死也。享年元  
或百石。家傳。曰九申年二月七日。が秩三  
石。同日十百年八月。子。不川。一。故。を。し。ま。し  
後。生。馬。持。上。傳。之。別。能。之。馬。何。並。よ。ま。し

言取小者。杖。か。や。し。あ。り。の。養。費。の。加。録。奉  
石。曰。之。申。年。馬。持。上。傳。之。別。能。具。の。日  
神。を。境。切。ま。り。の。境。文。申。年。九。月。廿。六。日。葬  
地。曰。上

之則

松下清九郎

西徳元申年。大出番。慶安元年十二月  
十之。

徳松君附。万治元年新由。寛文十亥年。安永。病免。延宝六戌年。新由。貞享元年。三月廿九。新由。久加。二白。元禄二年。二月廿七。死。葬。地。日。

松下幸之助

之備

天和二年。九月廿六日。大由。元禄二年。七月。夜。日。大由。七年。七月。或。白。儀。

地方。於。食。百。拾。衣。方。陸。國。の。月。日。十三。年。十月。十二。日。具。是。在。月。享。保。二年。四月。十四。日。死。六。年。一。葬。葬。地。日。上。

長儀

松下幸之助

享。保。六。年。四月。六日。大。由。享。保。二年。六月。廿七日。夜。病。八月。卯。年。十二月。甲。病。免。享。保。七年。十二月。十二。日。死。日。十。年。



四月十一日死。年五十九。葬地日三。

之章

美濃守 松平九郎 一久 男

松下清九郎

右左衛門

延享二丑年二月廿八日。公。年。子。富曆七年十二月十二日。安。日。八。富。年。六月八日。大。富。日。土。巳。年。二月廿九日。西。九。新。西。島。日。年。八月。富。年。九月。初。日。十二。年。年。十二月。十。日。西。九。勤。安。永。八。丑。年。四月。十。日。西。九。勤。

天明元丑年。日。古。古。西。九。勤。日。六。年。年。字。十月。廿。日。西。九。勤。安。永。二。丑。年。八月。十。日。考。久。在。安。令。日。以。丑。年。十月。廿。日。死。七。十。三。歳。葬。地。日。三。

富曆十辰年七月十日。浅草川馬渡。在。安。二。枚。安。永。八。丑。年。九月。廿。日。吹。上。大。約。時。辰。

正亮

松下内通

右衛門

言。六。百。五。拾。五。

寛政五<sup>二</sup>年十月廿八日大由島。日又廿年  
十月十日之代友。日年十二月廿七日家務  
。日九<sup>二</sup>年六月十六日捨洲上度之五也。日  
年。日七月廿日。淡草川馬渡。五也。二

維則

松下栄吉

寛政九年二月九日。初見



源姓

二了二百後

松下

源姓 角四目

十一番 七五柄

松下清九郎重之三男

重安

松下十九男

源姓三番

慶安四年十月八日別家三九也。小姓組。  
寛文十二年病免。定宝二富年十二月  
十日致仕。神田也。後。少合力。米七拾俵。日  
年。死。高田。富。祥。寺。葬。

美約并孫四郎某三男

松下孫八郎

正明

延宝二寅年十二月十八日祢田由成少於之  
家傳。日三卯年二月八日由書院書。日八  
申年十一月七日西丸半人。一統少書後。  
死市若長延寺發。

繁正

松下孫八郎

貞享元子年十二月十六日家傳。元禄二  
寅年八月九日相名書。病死。至永元中  
年六月十日十人。正徳又申年九月病  
免。享保九辰年十月九日十人。元文  
又申年九月十日死。年三國空祥發。

正親

松下十九巻

享保十六亥年十一月廿九日。小十人。元文  
中年十二月二日。安永。寛保二戌年八月  
廿二日。病免。安永巳未年九月七日。病免。  
天明六年十月廿六日。死。七十。葬。葬地。同日。

正道

松下十九巻

二百二巻

安永巳未年九月七日。安永。天明二酉年  
十月廿九日。小十人。同日。辰年二月十九日。病  
免。同日。申年九月十六日。小十人。寛政元  
酉年十月廿九日。病免。同日。丑年八月廿  
甲府。揚子。小十人。

同

源姓

字二百信

松下

家紋

四ツ目結  
ニツ巴  
ニツ目生

松下次郎左衛門善長長男

長綱

松下次郎左衛門

東照より奉仕。天正三亥年六月廿七長藤

山合戦傍存。同十二年四月九日尾州

長久手山合戦の別殿死。

伊長

松下孫十郎

東照宮(奉仕)代友。宗長又子年八月終。  
伏見唐城比別殿死

重政

松下清九郎

大猷院殿(代)大出番。大出番組久。寛永元

子年二月二日死享年

重之

松下清九郎

大猷院殿(代)大出番。飛松若沙抱守  
逝去の後大出番。病免。寛文十三年  
九月廿日死享年七歳。田宝祥寺葬

重由

松下源又左衛門

崇安己卯年十月三日 栢田出度少左組  
○兼應元元年十二月 厚采百石給儀。  
寛文元年加秩七十儀。延宝八年  
二月九日 死 年九 奉太左保 东長子 養

重萬ヨシ

二男

松下次郎 玄清

天和二年九月 栢田出度少左人。日三  
亥年七月 別家百儀之 杖抄。安永八  
長男 左衛門 一物々々。貞享己卯年  
十二月 納戸。元禄十二年 二月 出度 栢  
年 仍加秩百儀。宝永元年 申年 十二月 露  
少納戸。日三 戌年 十月 十五日 少納戸 改改  
○正徳二年 二月 廿五日 病免。享保己亥  
年 六月 二日 死 葬 比 日 三

実母 松平九郎 末三男

重刻

松下次左衛門

元禄十巳年春子〇宝永六甲午四月  
六日大番〇享保巳亥年六月二日春又  
死日〇日六甲午七月十二日死葬  
日〇

長良<sup>女</sup>

松下源之丞

享保六甲午十一月十日卒  
八月十日甲府勤番〇安永八甲申年二月  
十九日病死〇天明二甲午八月九日  
死七年六甲申州东光寺葬

長信

松下源二郎

高武百俵



明和二年十二月甲府勤番○因又申年  
八月十日○系上拜備の天明二箇年八月  
父死日云



源姓 言午 五人 扶持

松下

家茂 四目 結 十五 葉 菊

字多天守 不出 依 在 右 所 定 徳 六 代 是 夜  
九 所 左 美 耐 高 耐 後 流

重興

松下 傳 右 衛 門

大敵院殿 (百出) 凡 山 院 の 痛 死 約 也 大 恩 也

子 孫 繁

勝興

松下源九郎

大敵流敵一軍仕所流の之を水申一流組流。  
其又安三喜年、以爲見の之を文三卯年、死  
年三喜年、因りて葬

勝升

松下五三郎

文三卯年、六月、敵留の因りて年、若  
見の之を、申す

常室流敵一留留の之を、元酉年、以爲見組

元禄六年、十月、六日、敵流小喜流の之を  
以爲見、因りて年、一喜年、因りて葬

勝隆

松下平左衛門

元禄六年、六月、六日、敵流小喜流の之を、  
以爲見、因りて年、一喜年、因りて葬  
元禄六年、十月、六日、敵流小喜流の之を、  
以爲見、因りて年、一喜年、因りて葬





長福系少將。曰八月廿方所申地初。曰  
九月九方少納戸。曰十月八日有念。曰  
九年十月加格。曰十月八日有念。曰  
九月十日少納戸。曰十月十日有念。曰  
十月九日有念。曰十月十日有念。曰  
十月十日有念。曰十月十日有念。曰

映史

松下与助

享保十九寅年九月二日有念。曰  
元年七月十日有念。曰

経歴者  
美中七郎三郎

眼永

松下与助

与助

能人

元文元年十月二日有念。曰  
元年十月十日有念。曰  
元年十月十日有念。曰  
元年十月十日有念。曰  
元年十月十日有念。曰  
元年十月十日有念。曰

河津初の同一年十月十日迄九の同  
三月十八日迄五文の明和七寅多三月廿  
四迄五の法施次。女取不申子に日見之  
河津未供<sup>子</sup>の同六月廿二日一日供事  
身初同和敷山中書所修復に用をの  
同月十九日切ち丹室門改。同月十九日  
日迄 河津 河津並に河津修復に用  
の同七月廿二日一七日迄修復に用  
の同八月廿二日一廿四日迄修復に用

十一月廿二日迄勸申に修復に用骨好少  
復今更に改九に多七月廿二日迄半  
不本同より葬ふ

服徳

杉り多助 若くは 某入

高唐公五年九月廿八日迄人の同二年多  
九月廿八日<sup>飛</sup>書院番の同二年二月十日  
大細之助所の交改二成年四月廿二日迄

九初。同八辰多。為地勤。同九辰多。九月  
三日。家譜。

高七百石

源姓

高十五儀之。正持心

松下

家茂  
五環。同。年。西。員。後  
北。信。丸

先祖石洋

政采

松下久九郎

寬永十九年。四月。石出。丸。小。石。丸。  
延寶二年。年。病。免。政。仕。同七年。二月  
十日。死。中。所。法。性。子。英。

則直

松下久左衛門

延元二年（元禄）安堵。元禄十二年（享保）出後代  
令為御人。正徳二年四月病免。改仕  
享保十又戌年三月八日死葬地同上

保益

重益

松下幸八郎

正徳二年四月（享保）安堵。享保元申年上  
月病免。改仕。日七寅年十月日死葬地  
同上

政料

実大塔次郎花巻町定男  
松下七右八郎

享保元申年（享保）安堵。日年十月（享保）出後代  
召見。同六年二月七日召見。昭信。小召見。  
日又享保二年二月十七日小召見。昭信。三玉曆六







勤方兼。同六。宣。年。二。月。六。日。由。同。不。組。次。定。  
○。月。十。年。年。八。月。四。日。西。九。涉。藤。亦。亦。臺。取。民。



